

3 教育

区市町村名	(1)小中学生に向けた国際教育			(2)日本語教育・日本語指導員の派遣等	(3)外国人学校等への支援	新型コロナウイルス感染拡大の影響
	①外国人講師の派遣	②児童・生徒の海外派遣	その他・補足(実績等)			
千代田区	○	○	・区立小学校(各校年間80日～120日程度)・中学校(各学級月3回程度)に外国語指導助手(ALT)を配置 ・生徒の海外派遣の代替事業として、中学校2校2年生全員を対象に東京グローバル・ゲートウェイでの校外学習を実施	・日本語指導員3名を派遣し、外国籍の児童・生徒を対象に日本語による教科指導を実施(対象者:小学校26名、中学校10名)	○	【(1)②児童・生徒の海外派遣】 縮小
中央区	○	-	【①外国人講師の派遣】 区立小学校(全学年35時間、一部の学校は年132日)・中学校(年190日)に外国人英語指導助手(ALT)を配置 【②児童・生徒の海外派遣】 区立中学生24名(11日間[出国・帰国日含む])をオーストラリアへ派遣(令和2～4年度は中止)	日本語指導が必要な外国籍の児童・生徒に、母国語の日本語指導員を派遣 (R3実績:対象者34名、延べ1,241時間)	-	【(1)②児童・生徒の海外派遣】 中止
港区	○	○	代替プログラムとして、区立小学生40名(2日間)、中学生40名(2日間)が区内イングリッシュ・プログラムを実施し、区内で留学生との交流を行った。	1、日本語学級を設置(小学校2校、中学校1校)し、日本語指導教員7名を筈小学校、麻布小学校、六本木中学校に配置し、日本語による教科指導を実施(対象者:小学校66名、中学校17名) 2、日本語指導が必要な外国籍の児童・生徒に母国語の日本語適応指導員を派遣(利用者47名、延べ2478時間)	-	【(1)②児童・生徒の海外派遣】 縮小
新宿区	○	-	●1－Day英語キャンプ(縮小) 児童・生徒が英語だけの環境に身を置き、ネイティブスピーカーである講師との交流やプログラムでの体験を通して自然な形で英語に触れ、親しむことで、外国語によるコミュニケーション能力の基礎を養うとともに、グローバルな関心を育む。 ・小学生の部:1日完結×3日(76名) ・中学生の部:1日完結×1日(28名) ●外国籍の子どもの就学状況の把握及び不就学となっている外国籍の子どもに対する就学促進を図るため、就学状況アンケート調査を実施(影響なし)	●日本語初期指導 日本語指導が必要な外国籍等の幼稚園児・児童・生徒を対象に、指導員を配置し、母語を使用した日本語指導を行う。(利用者数:幼稚園 15名、小学校 33名、中学校 9名、合計57名) ●日本語学習支援 外国等から転(編)入学した児童・生徒を対象に、支援員を配置し、放課後等に日本語による教科指導及びこれに必要な日本語学習の指導を行う。(利用者数:小学校 83名、中学校 23名) ●外国等から転(編)入した中学3年生で、個別の学習指導・進学支援を希望する生徒に対し、5教科の学習指導及び進学支援を、対象生徒の母語を交えて行う。(利用者数 :10名)	○	【(1)その他】 縮小
文京区	○	-	【①外国人講師の派遣】 全小・中学校の全学年に外国人英語指導員を派遣し国際理解教育の推進を図っている。小1・2年:10時間、小3・4年:35時間、小5・6年:70時間、中学校:年70時間程度	英語圏以外の、日本語指導が必要な児童、生徒に、母国語の日本語指導員を派遣(利用者数26名、延べ1304時間)	○	-
台東区	○	-	-	-	○	-
墨田区	○	○	中学生海外派遣(オーストラリア)中止の代替として、国内(ブリティッシュ・ヒルズ)で中学生語学研修を実施(参加生徒19名、5日間)	・すみだ国際学習センターにて外国籍の児童・生徒を対象に日本語による教科指導を実施(対象:区内小中学校) ・日本語学級を設置(小学校1校) ・日本語指導が必要な外国籍の児童・生徒に母国語の通訳者を派遣(派遣校16校、延べ2,208時間)	○	【(1)②児童・生徒の海外派遣】縮小
江東区	○	-	区立小学校、中学校、義務教育学校に外国語指導助手(ALT)を配置。年間、小学校1,2年生12時間、3,4年生18時間、5,6年生35時間、中学校35時間、特別支援学級に5時間配置している。	・日本語指導が必要な児童・生徒に母国語の日本語指導員を派遣(1回2時間) ・小学校:98人、1,188回 ・中学校:14人、283.5回 ○中国籍児童・生徒を対象に中国語の日本語指導員2名を派遣(指導実績19人) ○日本語学級を設置(義務教育学校)	-	【(1)②児童・生徒の海外派遣】中止

区市町村名	(1)小中学生に向けた国際教育			(2)日本語教育・日本語指導員の派遣等	(3)外国人学校等への支援	新型コロナウイルス感染拡大の影響
	①外国人講師の派遣	②児童・生徒の海外派遣	その他・補足(実績等)			
品川区	○	○	・区立小学校・義務教育学校の1・2年生(各校年間35時間)・中学校・義務教育学校7～9年生(同10時間)に外国語指導助手(ALT)を配置 ・ネイティブスピーカーによる英語でのおはなし会を図書館で開催(7回開催、1回30分程度、延べ199人参加)	・区立小学校の空き教室において、日本語能力の取得を進めるための言語指導や教科への適応指導を実施(NPO法人へ委託) 令和3年度実績:320回 ※1回の参加が10名を超える場合は10名ごとに1回としてカウントしている。	○	【(1)②児童・生徒の海外派遣】縮小 【(1)その他】一部、縮小
大田区	○	－	英語検定実施委託	必要校へ派遣、指導時間60時間(上限80時間) 令和3年度の実績 日本語指導員実績(小102人、中15人) 日本語学級(小1校47人、中1校43人)	－	【(1)②児童・生徒の海外派遣】中止
目黒区	○	－	・区立小学校(各校年間135日程度)・中学校(各校年間145日程度)に外国語導助手(ALT)を派遣 ・大鳥中学校2年生を対象にイングリッシュキャンプを実施(参加生徒約50名、ALTスタッフ11名) ※新型コロナウイルス感染拡大により、八ヶ岳で宿泊から大鳥中で日帰り実施に変更	・日本語指導員20名を派遣し、日本語指導が必要な児童・生徒を対象に日本語による指導を実施(対象者:小学校32名、中学校16名) ・国際学級(小学校1校)、日本語教室(小学校2校、中学校1校)を設置	○	【(1)その他】縮小
世田谷区	○	－	－	外国籍の児童・生徒に対して、日本語指導及び生活習慣の指導・補助を実施(小学校23校45名、中学校5校6名)	○	【(1)②児童・生徒の海外派遣】中止
渋谷区	○	○	【①外国人講師の派遣】 ALT派遣 ・区立小学校16校(年間11,760時間)、区立中学校6校(年間4,120時間) ・小学校モデル校1校(神宮前小:年間2,514時間) ・英語教育重点校(渋谷本町学園:年間188日×3名、松濤中学校:年間188日×4名) 【②児童・生徒の海外派遣】 新型コロナウイルス感染症対策により海外渡航はせずにオンライン実施 ・フィンランド共和国児童・生徒派遣研修 小学5、6年生、中学1、2、3年生(25人) フィンランド共和国現地校とのオンライン交流 フィンランド人やフィンランドについて詳しい人材を講師に招いた文化や言語に関わる講演、グループ学習 ・シリコンバレー青少年派遣研修 中学2、3年生(15人) 企業による起業やアイデアソンについての講習 シリコンバレー現地の起業家や教育関係者による授業	・日本語指導が必要な外国籍の生徒を対象に訪問指導員を1名配置。(対象者:中学生12名) ・日本語学級を設置(小学校1校、対象者:小学生22名) ・日本語指導対応教員を加配(小学校4校、中学校2校) 【日本語通級指導学級設置校】 ・神宮前小学校 ・利用者22人の2学級編制(R4.5.1現在) 日本語指導が必要な外国籍児童生徒に対し、英語等も活用しながら個別指導を行っている。	○	【(1)②児童・生徒の海外派遣】縮小
中野区	－	－	－	・日本語指導が必要な児童・生徒のために、日本語指導員を延べ97名派遣(小学校45校、中学校5校) ・中野区国際交流協会では中学生のための日本語集中指導教室を開設。(中学生20人×77回)	－	【(1)②児童・生徒の海外派遣】中止 【(2)日本語教育・指導員の派遣】縮小
杉並区	○	－	・区立小学校(第1・2学年3時間、第3・4学年25時間、第5・6学年7時間)、区立中学校全学年22時間、外国人英語指導助手(ALT)を派遣(1学級当たり/年間配置)。 ・区立小学校(第5・6学年1学級当たり年間51時間)日本人英語指導助手(JTE)を配置。	都会計年度任用職員3名及び日本語指導講師14名を、外国人及び帰国児童生徒の在籍校に派遣し、日本語による指導を実施(対象者:小学生62名、中学生25名)	○	【(1)②児童・生徒の海外派遣】中止
豊島区	○	－	・区立小学校各クラスにALTを配置(1年:8時間、2年:12時間、3・4年:35時間、5・6年:50時間/年) ・区立中学校各クラスにALT配置(1・2年:30時間、3年:12時間/年) ・区立小・中学生対象「EnglishCamp」をオンライン開催(立教大学主催)	・日本語指導教室にて指導(在籍者数14名、延べ指導回数739回) ・日本語通訳派遣(対象者42名、派遣時間793.5時間)	－	－

区市町村名	(1)小中学生に向けた国際教育			(2)日本語教育・日本語指導員の派遣等	(3)外国人学校等への支援	新型コロナウイルス感染拡大の影響
	①外国人講師の派遣	②児童・生徒の海外派遣	その他・補足(実績等)			
北区	○	－	・外国語指導助手(ALT)の配置(区立小学校3,362日間、区立中学校5,179時間) ・区立小学校6年生・中学校1・2・3年生を対象に英検の検定料を全額補助	・小学校1・2年生で日本語適応指導教室に通級が困難な児童、並びに小学校3年生以上で、言語・交通機関の理由で通級が困難な児童・生徒に対し、原則として3か月間、在籍校へ日本語適応指導員の派遣を行う。(派遣対象校数19校、48名)	○	【(1)②児童・生徒の海外派遣】中止
荒川区	○	－	・小学校ワールドスクール(縮小) 清里高原青少年自然の家(区施設)に外国人講師らとともに宿泊して英語を学習(令和3年度は宿泊ではなく区立小学校への通いで実施、66人参加) ・中学校ワールドスクール(中止) 国際教養大学のイングリッシュビレッジに参加、中学生30名	・初期日本語指導(指導員を派遣) 幼稚園上限33時間、小学校上限48時間 ・通室による初期指導 中学生3か月 ・通級による補充学習指導 初期日本語指導が終了した小学校高学年から中学生、3か月(5か月まで延長可)	－	【(1)その他】中止、縮小
板橋区	○	○	・外国人指導員による英会話授業(ALT) ネイティブスピーカーによる授業を実施(小学校1,580日、中学校2,865日)	・区立小中学校在籍の中国籍児童・生徒を対象に日本語適応指導員を派遣。(延べ148回) ・海外からの転入生に対する通訳ボランティア(ことば支援員)を派遣。(延べ479回) ・日本語学級を設置(小学校3校、中学校2校) ・日本語での意思疎通困難な子どもが学校生活に初期に適応できるよう、短期間で集中的に学ぶ講座を実施(利用者:外国人13名、日本人5名)	○	【(1)②児童・生徒の海外派遣】縮小
練馬区	○	－	【①外国人講師の派遣】 ・国際理解授業への協力 区立小中学校へ外国人講師等を派遣し外国文化の紹介を行っている。令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響もあり、区立小中学校からの依頼がなく、実績なし。	日本語等指導講師を40名派遣し、海外からの帰国または入国児童・生徒を対象に日本語習得のための個別指導を実施(対象者:小学校75名、中学校21名) ・こども日本語教室(34回。参加者数27名) ※学校とは別に、区が外国にルーツを持つ児童・生徒を対象に日本語を指導 ※定員を縮小	－	【(1)①外国人講師の派遣】 一部、中止 【(2)日本語教育・指導員の派遣】 一部、縮小
足立区	○	○	【①外国人講師の派遣】 ・区立小中学校に外国語指導助手(ALT)を派遣し、英語教育を充実させる。 令和3年5月～令和4年2月(8月を除く) 延べ派遣時間数…14,884.25時間(④影響なし) 【その他】 ・小学生を対象に異文化交流プロジェクトをオンライン実施。(参加学校数2校、参加児童数97名、外国人留学生20名、日本人学生26名)(②代替実施) ・中学生を対象に留学生交流事業をオンライン実施。(参加学校数2校、参加生徒数507名、外国人留学生12名)(②代替実施) 主に外国籍等児童・生徒への日本語適応指導を充実させるため、区内小学校に日本語学習ルームを設置 令和3年度指導実績 16名	日本語適応が必要な外国籍および帰国子女の児童・生徒に対し、日本語適応指導講師を派遣(利用者86名、延べ4141時間)	○	【(1)①外国人講師の派遣】 一部、縮小 【(1)②児童・生徒の海外派遣】 縮小

区市町村名	(1)小中学生に向けた国際教育			(2)日本語教育・日本語指導員の派遣等	(3)外国人学校等への支援	新型コロナウイルス感染拡大の影響
	①外国人講師の派遣	②児童・生徒の海外派遣	その他・補足(実績等)			
葛飾区	○	－	区立小学校(各校年間28日程度)・中学校(同44日程度)に外国語指導助手(ALT)を配置	・日本語学級を設置(小学校2校・中学校2校) ・にほんごステップアップ教室を葛飾区立総合教育センターに設置し、日本語初期指導を実施(指導員数:4名 通室者数:小学校31名、中学校7名)	○	－
江戸川区	○	－	【②児童・生徒の海外派遣】 例年「青少年の翼」(中高生の海外派遣事業)にて学生を派遣(新型コロナウイルス感染症拡大により中止)	令和3年度は271名の児童・生徒に日本語指導員を派遣(1回2時間上限80回)	○	【(1)②児童・生徒の海外派遣】中止
八王子市	○	－	市立小学校等(3・4年生年間10時間、5・6年生年間5時間)・中学校等(1・2年生年間7時間、3年生年間4時間)・特別支援学級(年間5時間)に外国語指導助手を配置	・日本語学級を設置(小学校1校、中学校1校) ・日本語巡回指導(小学校21校・35人、中学校5校・5人)	○	【(3)外国人学校等への支援】縮小
立川市	○	－	－	－	○	－
武蔵野市	－	－	－	日本語指導員7名を派遣し、外国籍の児童・生徒を対象に日本語指導を実施(対象者:小学校6名、中学校2名)	－	【(1)②児童・生徒の海外派遣】中止
三鷹市	○	－	・小学校の外国語活動(英語)(5、6年対象)、外国語活動(3、4年対象)、英語活動(1、2年対象)にALTを配置(全学年対象、15校、約1350時間前後) ・中学校の外国語(英語)の授業にALTを配置。(全学年対象、7校、約870時間前後) ・市内の学校からのニーズに応じ、協会で活動している外国籍市民を学校の授業に派遣し、児童・生徒の国際理解教育の支援を実施(子ども国際理解講座)	・日本語の運用能力が不十分な児童・生徒が編入してきた時に日本語指導者を派遣し、学校生活及び学習への円滑な適応を図る。(児童・生徒9人、368時間) ・外国籍児童・生徒などが楽しく充実した学校生活を送れるよう、生活対応言語を中心とした日本語と学習思考言語強化を支援する。(子ども教室)	－	【(1)①外国人講師】縮小
青梅市	○	－	－	－	－	－
府中市	○	－	－	海外から帰国又は来住した児童・生徒に母国語の日本語指導員を派遣(利用者37名、延べ2,337時間)	○	－
昭島市	○	－	市立小学校(各校第3・4学年年間20回程度、第5・6学年年間35回程度)・中学校(同95日程度)に外国語指導助手(ALT)を配置	日本語指導が必要な外国籍の児童・生徒に母国語の日本語指導員を派遣(利用者9名、延べ474時間)	○	－
調布市	○	－	・外国語指導助手(ALT)を配置し、小学校1249日間、中学校722日間実施 ※コロナウイルスの影響により夏季休業日の延長に伴い、実施日数減	・外国籍の児童・生徒を対象に日本語指導講師派遣を実施(対象者:小学校7名、中学校6名) ・日本語教室の設置(利用者53名、延べ68日間) ※コロナウイルスの影響により実施日数減	－	【(1)①外国人講師】縮小 【(2)日本語教育・指導員の派遣】縮小
町田市	○	－	「えいごのまちだ事業」として、 ・小学校全42校で小2～小5の希望者を対象に放課後英語教室を実施 ・中学校1校で放課後英語教室を実施 ・小学校の担任の英語の授業を補佐するための会計年度任用職員(日本人で英語力を有している者)を全小学校に配置 ・中学校移動英語教室(中学2年生の移動教室に福島県のブリティッシュヒルズを選択)への補助金支出 ・市立南成瀬小学校6年生66名(2日間)に「外国人の人権」について4名派遣 ・市立小山田小学校6年生66名(1日)に「自国の紹介など」について3名派遣	日本語指導員等の派遣 日常の日本語活用が困難な児童・生徒を対象に、年120時間を上限に個別指導を行う。(申請児童52名、申請生徒10名 合計62名／延べ3,366時間)	－	【(1)①外国人講師】一部、縮小 【(1)その他】一部、縮小
小金井市	○	－	小学校の外国語活動、小・中学校の英語授業のうち、一部について、ALTを配置。	外国籍等の児童等のうち、在籍校長が必要と認めた児童等に対し、授業時間や放課後に、各学校にて日本語指導等を実施。	－	－

区市町村名	(1)小中学生に向けた国際教育			(2)日本語教育・日本語指導員の派遣等	(3)外国人学校等への支援	新型コロナウイルス感染拡大の影響
	①外国人講師の派遣	②児童・生徒の海外派遣	その他・補足(実績等)			
小平市	○	－	市立小学校では第3・4学年に対し年間11時間以上、第5・6学年に対し年間31時間以上を目標に、また市立中学校では年間15時間以上を目標にALTを配置	日本語指導が必要な外国籍の児童・生徒に日本語指導員を派遣(利用者25名、延べ1,481時間)	－	－
東村山市	－	－	－	日本語適応指導として、市内小・中学校に在籍する日本語の指導に困難を有する児童・生徒に対して学習支援を実施。 市で「東村山子ども日本語教室」を開催し、小・中学生を対象に指導ボランティアによる日本語教育を実施。	－	－
国分寺市	○	－	－	市公立学校に在籍する児童・生徒のうち、日本語の使用に著しい困難を有する外国籍などの児童・生徒に対して、適切な初期の日本語指導を実施。指導期間は、児童・生徒一人当たり108時間を限度とする。また、学習を継続する上で日本語の使用が困難な児童・生徒の在籍する学校にボランティアの日本語支援サポーターを派遣する。	○	－
国立市	○	－	市内小中学校のALTに関しては、市からの直接雇用の形態をとっている。	－	－	－
福生市	○	－	－	海外帰国児童・生徒、外国籍の児童・生徒等であって、日本語能力が不十分な児童・生徒を支援するため、①日本語適応支援員(通訳・翻訳)(13名、延べ980時間(小学校:869時間、中学校:111時間))及び②スクールアシスタントティーチャー(日本語学習指導補助)(3名、延べ219時間(小学校:204時間、中学校:15時間))を配置	－	－
狛江市	○	－	TGG、オンラインスピーキング(中学校)	海外帰国児童・生徒等に対する日本語指導として、日本語指導員を配置した。	－	－
東大和市	○	－	【①外国人講師・指導員の派遣】 小・中学校に在籍する外国籍又は帰国子女のうち、初歩の日本語の定着と学校生活への早期適応を要する当該児童・生徒に「書くこと」「話すこと」を中心に日本語指導及び適応指導を行うことを目的に日本語指導員を配置した。 【対象者】小学校:10名、中学校:9名 【配当時間】小学校:325時間、中学校:255時間	小・中学校に在籍する外国籍又は帰国子女のうち、初歩の日本語の定着と学校生活への早期適応を要する当該児童・生徒に「書くこと」「話すこと」を中心に日本語指導及び適応指導を行うことを目的に日本語指導員を配置した。 【対象者】小学校:10名、中学校:9名 【配当時間】小学校:325時間、中学校:255時間	○	－
清瀬市	○	－	市立小学校3・4年生1学期あたり20時間 市立小学校5・6年生1学期あたり30時間 市立中学校1～3年生1学期あたり25時間	日本語指導員4名を派遣	－	－
東久留米市	○	－	－	日本語指導が必要な児童・生徒(外国籍か否かは不問)に日本語指導員を派遣(利用者14名、延べ279時間)	－	－
武蔵村山市	○	－	・市立小学校(各校年間21日程度) ・中学校(同195日程度)に外国語指導助手(ALT)を配置 ・市内に在住、通学している高校生を対象とした横田基地高校生英語ツアー(中止)	・小中一貫校村山学園小学部に日本語学級を設置 ・日本語指導が必要な外国籍の児童・生徒に母国語の日本語指導員を派遣(指導員2名、延べ1,168時間)	－	－
多摩市	○	－	【①外国人講師の派遣】 英語活動推進事業において、外国人講師(ALT)を小・中学校26校へ派遣した。	適応指導指導員を市内小中学校12校に12名派遣し、帰国児童生徒等を対象に、母語及び日本語による適応指導を実施(小学生14名、中学生5名)。	○	－

区市町村名	(1)小中学生に向けた国際教育			(2)日本語教育・日本語指導員の派遣等	(3)外国人学校等への支援	新型コロナウイルス感染拡大の影響
	①外国人講師の派遣	②児童・生徒の海外派遣	その他・補足(実績等)			
羽村市	○	－	羽村市立学校における英語活動、外国語活動及び外国語科の充実を図るため、外国語指導助手(ALT)を配置した。 小学校(全7校において、合計1,404時間) 中学校(全3校において、合計489時間)	・外国語児童・生徒日本語指導員を3名派遣し、外国籍の児童・生徒を対象に学習指導の支援等を実施した。(対象者:小学校9名・中学校5名) ・日本語能力が不十分な外国籍児童に対し、日本語の習得や教科の学習を支援するため、日本語学級を設置した。(小学校5校)	－	－
あきる野市	○	－	－	－	－	【(1)②児童・生徒の海外派遣】中止
西東京市	○	－	ALT配置時間数 小学校3・4年:5時間 小学校5・6年:18時間 中学校全学年:15時間	○	－	【(2)日本語教育・指導員の派遣】縮小
瑞穂町	○	－	－	－	－	【②児童・生徒の海外派遣】中止
日の出町	○	－	－	－	－	－
檜原村	－	－	－	－	－	【②児童・生徒の海外派遣】中止
奥多摩町	○	－	－	－	－	【②児童・生徒の海外派遣】中止
大島町	○	－	－	－	－	－
利島村	○	－	－	－	－	【②児童・生徒の海外派遣】中止
新島村	○	－	－	－	－	－
八丈町	○	－	－	－	－	【②児童・生徒の海外派遣】中止
青ヶ島村	○	－	－	－	－	－
小笠原村	○	－	－	－	－	－